

行政視察実施報告書

行政視察の結果について、下記のとおり報告します。

令和6年6月28日

光市議会議長 木村 信秀 様

光市議会議員 仲小路 悦男

(会派こう志会に同行)

記

- 1 視察年月日 令和6年6月20日(木) 9時30分～11時30分
- 2 調査場所
 - (1) 光市防災庁舎
 - (2) 光市内河川等監視カメラ設置場所5箇所
(山田川合流点 花園水路水門付近 虹川 野尻 岩田)
- 3 調査結果 別紙のとおり

調査結果

日 時	令和6年6月20日（木） 9時30分～11時30分
調査場所	光市防災庁舎及び河川等監視カメラ（5箇所）
調査事項	（1）光市防災庁舎の現地視察 （2）河川等監視カメラの現地視察
説明者	防災危機管理課長 海老本 卓也 氏 防災危機管理課防災危機管理係長 秋山 和宏 氏

【事業内容】

<防災庁舎の概要>

総事業費：約9億9,000万円（システム構築、用地取得費、設計費を含む）

構造面積：鉄筋コンクリート造3階建 延べ床面積 1259.80㎡

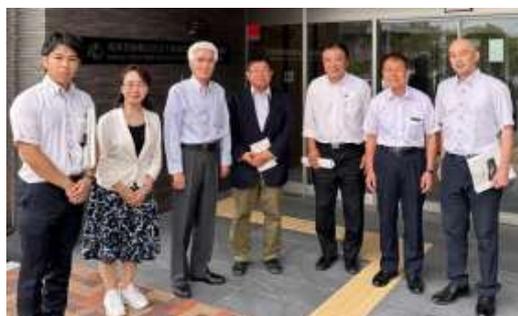
供用開始日：令和6年3月25日（月）

整備概要：災害対策本部会議室 災害活動センター
基幹型防災倉庫

非常用発電設備（72時間分の燃料を備蓄）

災害時給水貯留設備（3日分）

排水貯留設備（7日分）

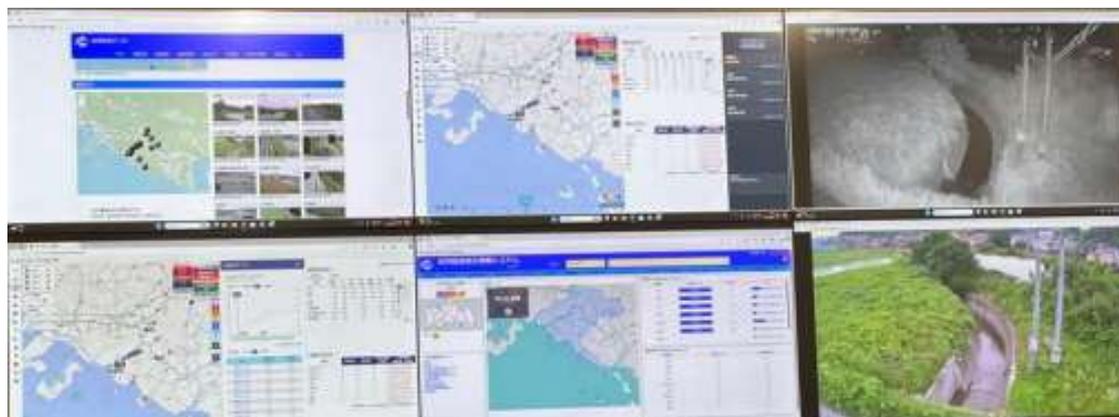


整備経緯：防災指令拠点である本庁舎の耐震化が課題であり、検討を進めていたが、平成30年7月豪雨が甚大な被害をもたらし、災害復旧事業を優先したことから本庁舎の耐震化を凍結し、地震をはじめ、風水害等の災害に備えるため、本庁舎敷地内に新たな防災指令拠点を整備し、市民の安心・安全を確保することとした。

<総合防災情報システムの概要>

運用開始日：令和6年3月25日（月）

主な機能：情報収集機能 情報共有機能 情報分析機能 情報発信機能



<河川等監視カメラの概要>

災害時における監視体制の強化を図るため、市内の河川、河岸及びため池の計15箇所に監視カメラと水位計を新設し、総合防災情報システム上で、カメラ画像や水位データをシステム上で確認できるよう、システム連携を行っている

※カメラ画像…5分間隔で更新、水位データ…10分間隔で更新



【所感】

画像をスマートフォンやパソコンにより防災ポータルで見るだけでなく、実際にそれを撮影している監視カメラの設置場所を視察し、機器の形式、向き、設置方法など具体的の状況を確認することにより、画像が真実のものとして迫ってきます。想像はしていてもそのものを見ることで現実を感じることができます。

また、水位を計測する装置の取付け方法もパイプを使用して水中に入れる方式で、その意外性に驚きました。総合防災情報システムは、使いやすく作られており、防災情報を市民に伝達する時の的確な判断をサポートするために、非常に有効であることが操作を見ながらよくわかりました。

時間・空間における複雑な気象状況の把握はシステムに任せ、本当に人でなければ決められない重要な事項に集中できると思います。災害の時には、光市の防災情報は間違いないと市民に信頼されることと思います。